

山梨DWATメンバーになるには



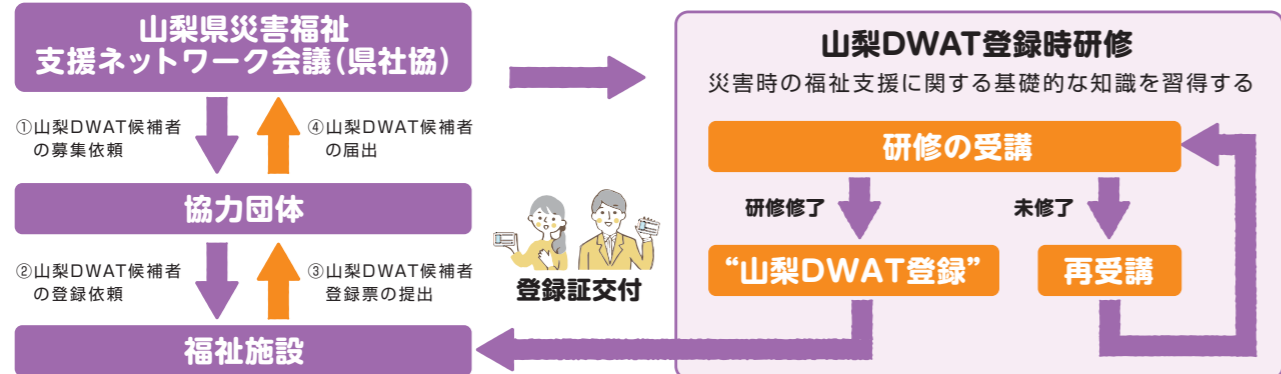
登録要件

業務経験3年以上で
山梨DWAT登録時研修を受けた者

区分	名称
国家資格 又 公的資格	社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、 介護支援専門員、保育士、ホームヘルパー
職種	相談支援専門員、介護職員、生活相談員、生活支援員、 保育士、保育教諭、地域包括支援センター職員等
その他	特に山梨県知事が認めた者

登録手続き

協力団体を通じて登録を行う



協力団体とは？

県及び県社協と「山梨県災害派遣福祉チームの派遣に関する基本協定」を締結した(締結予定も含む)社会福祉に関する事業を行う施設・事業所等が加入する団体または職能団体

『山梨県災害福祉支援ネットワーク会議構成団体』

福祉施設関係団体

- 山梨県社会福祉法人経営者協議会
- 山梨県知的障害者支援協会
- 山梨県身体障害者施設協議会
- 山梨県精神障がい者地域生活支援ネットワーク
- 山梨県老人福祉施設協議会
- 山梨県老人保健施設協議会
- 児童養護施設部会
- 山梨県保育協議会
- 日本保育協会山梨県支部

福祉関係職能団体

- 一般社団法人山梨県社会福祉士会
- 一般社団法人山梨県介護福祉士会
- 一般社団法人山梨県介護支援専門員協会
- 山梨県精神保健福祉士協会

その他関係団体

- 社会福祉法人山梨県社会福祉協議会
- 山梨県

山梨県災害福祉支援ネットワーク会議(事務局:山梨県社会福祉協議会)
400-0005 山梨県甲府市北新1-2-12山梨県福祉プラザ4階

☎ 055-254-8610

山梨県 福祉保健部福祉保健総務課
400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

☎ 055-223-1443

問い合わせ先

<http://www.y-fukushi.or.jp/>

作成 山梨県災害福祉支援ネットワーク会議



山梨県災害派遣福祉チーム



Disaster 災害

Welfare 福祉

Assistance 支援

Team チーム



ふくしの力で 地域に安心を

避難所生活をともに支える
福祉専門職混成チームメンバー募集



[ディーワット]

山梨DWAT (山梨県災害派遣福祉チーム)とは?

大規模な災害が発生した場合に、被災市町村からの要請を受け、一般避難所等において避難者に対し必要な福祉的支援を行うチームです。

DWATのメンバーは指定の研修を修了した者で、県内の福祉関係団体や職能団体に所属する

福祉専門職等により構成されています。

DWATは1チーム5名程度の福祉専門職で編成され、3~5日間で次のチームと交代しながら支援活動を行います。

避難所の課題

- 地震や大雨による河川の氾濫、土砂崩れなどの災害から無事避難所へ避難できたにも関わらず、慣れない避難所生活により体調が悪化し亡くなるケースが多く報告されています。
- 被災する前にも、介護が大変、買い物や通院が大変、持病による食事制限がある、障がいのあるお子さんがいるなど、何かしらの日常の生活課題を抱えている方が多くいます。
- 長期化する避難所生活では十分な介護や食事などの支援を受けることができず、生活機能の低下や、心身状態の悪化が過去の被災地ではたびたび見受けられています。

DWATは **このような災害時における二次被害を防ぐため、被災された方々の避難所生活の支援を行います。**

DWATの役割・活動内容

- 要配慮者のスクリーニング、アセスメント
- 福祉避難所等への誘導
- 日常生活上の相談支援
- 一般避難所等内の環境整備
- その他各種専門チームとの連携した支援 など

※要配慮者：高齢者、障がい者、乳幼児、その他配慮を必要とするもの。



災害時の派遣までの流れ



『県内外被災市町村からの派遣要請』

山梨県



山梨県災害福祉支援ネットワーク会議

派遣可否の検討・派遣決定

山梨DWAT派遣クールの決定



一般避難所等



『チーム編成(5名程度 / 3~5日間)』『山梨DWAT』

活動期間



活動事例

実際に被災地で活動したDWATの事例を紹介します。



アセスメント

- 保健、看護チームと連携して要配慮者等に声掛け。
- 服薬の確認や血圧、体温の測定を行いながら、体調の不安なこと、被災体験などを聞きとり。
- 今後の住まいの確保など福祉ニーズの把握と掘り起こしを実施。

要配慮者支援

- 要配慮者の福祉サービス利用支援、地元相談機関へのつなぎ。
- 配慮が必要な避難者への定期的な見守り、応急的な介護等の支援。
- 地元相談機関の指示を受けて、病院やデイサービスへの送り出し。

環境設備

避難所レイアウトの検討や、生活空間・衛生環境の整備。



なんでも相談コーナー



集いの場づくり

- 避難所の高齢者等を対象に介護予防の体操実施。
- 子どものリフレッシュのためのスペースを確保・調整。



福祉避難所の支援

各種福祉関係団体と連携し福祉避難所の設置・運営を支援。



多様な支援チームとの連携

様々な困りごとに対応できるよう、医療チームやリハビリチーム・行政などの情報共有・連携。

